

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和 3年 2月 19日

事業所名: ひよこ園事業

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1	13	0	0	基準は満たしています。構造化により通路等は狭い部分もありますが、活動の意味理解が高まることで、個々の活動スペースが合理的に確保されています。 ・目的を持って活動できるようパーティションで区切り構造化を行っています。狭いと感じる部分もありますが個々の活動スペースを確保しています。 ・子どもさんの活動をパーティションで区切るなど工夫しています。 ・広さに合わせて活動する人数を調整しています。	26	9	0	0	・走りまわれるスペースがあるので嬉しいです。 ・少し狭いと感じますが、構造化しているので仕方ないと思います。 ・ダンボールでできられている場所はせまい。 ・少しせまい。	より合理的にスペースが使用できるよう、再構造化を継続していきます。
	2	13	0	0	適切な職員の配置が確保されています。また職員間の療育支援の方向性は統一されています。	34	0	0	1	・色々カードの掲示もしてもらえているので助かります。	
	3	13	0	0	子どもさんにとって分かりやすい環境を整えることはひよこ園のテーマの一つであり、個々に合わせた環境調整や情報伝達の徹底がなされています。 ・子どもさんの理解しやすい提示方法をとっています。	35	0	0	0	・スケジュールなどで知らせてくれているので配慮されています。	
	4	13	0	0	建物の老朽化はありますが、毎日清掃及び消毒を行い清潔な状態が保たれています。今年度は特にコロナウイルス感染予防のため療育中も換気、消毒の徹底をしています。また、環境の意味が分かりやすく整理された生活空間が確保されています。 ・療育後の清掃と消毒はもちろん、活動の合間にもこまめな消毒に心がけています。 ・コロナ対策では他児との密を避け食事場面でスペースを確保しています。	29	6	0	0	・逆に家で布団などをかけて鼻水が出ていて申し訳ないです。 ・建物自体古いので、しょうがないですが…。	コロナウイルス感染症対策を徹底的に行います。

業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	13	0	0	施設運営に関しては迅速に協議を重ねられるよう月2回の割合で主任会を行いその中で業務改善の協議を行っています。クラス主任は各クラス職員の意見を集約したものを持ち寄り、協議した結果を各クラス職員に報告しています。行事など保護者が参加するものに関しては必ずアンケートを取り次回の実施の参考にさせていただいています。 ・日々クラス内で反省し、年度末には職員全体で振り返りをしています。 ・事業計画を作成し、園全体で情報共有しています。それを基に支援を行っています。						
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	6	0	7	第三者による外部評価は受けていません。定期的に自閉症スペクトルに造詣の深い外部の言語聴覚士にコンサルテーションを受けています。						
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	13	0	0	新型コロナウイルス感染症のため今年度は園外研修の実施(参加)を控えましたが、園内研修に関しては積極的に取り組みました。 ・言語聴覚士、看護師、児発管、施設長の研修が確保されています。						
	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	13	0	0	年間支援計画を立案するに当たり、保護者の方に情報収集及び希望を聴取し、各クラス職員・児発管・保護者の方とでミーティングを行います。ミーティングでは子どもさんの現状把握及び生活のしにくさについてアセスメントしたものと、保護者の方のお考えを調整した上で、年間の目標設定を行っています。 ・クラス全体で子どもさんの課題を分析し、年間支援計画を作成しています。	35	0	0	0	・出来なかったことが出来るようになったので嬉しかったです。	

2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	13	0	0	<p>ひよこ園事業ではコミュニケーション指導に重点を置いています。受容性と表現性コミュニケーションの視点で目標設定を行っています。目標設定を行う際、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」と突き合わせを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づき計画を実施しています。年2回年間目標に対する短期目標の見直しを行い、モニタリングについては月ごとに実施しています。 ・ケース会の中で事例検討を行ったり、日々の療育の中でOJTを実施したりすることで共通理解や支援の見直しに努めています。 	35	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園であった事を知ることが出来るのでわかりやすい。 	
3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	13	0	0	<p>子どもさんの興味関心を大切にしながら集団・個別活動に取り組んでいます。それぞれの子どもさんが達成感を感じられるように計画を立てています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり個別的な対応と支援計画を立案しています。 ・子どもさんの特性に合わせて個別、集団での日課を作成しています。 ・一人ひとりに合った生活日課を立てています。 						
4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	13	0	0	<p>連絡ノートで保護者に日々の様子をお伝えし、支援の状況の確認ができるようにしています。また、個別懇談でも保護者の方と支援の進捗状況について話し合い、今の子どもさんの発達状況や困り感に沿った支援となっているのか確認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援がより適切に行えるようクラス内で支援計画・支援方法の情報共有をし改善点を検討しています。 ・連絡ノートで日々の様子を家庭と確認しあい月ごとに進捗状況を記録しています。 	34	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・色々園と家での支援の仕方やり方を学ばせてもらっています。 	

適切な支援の提供

5	チーム全体での活動プログラムの立案	13	0	0	<p>クラス職員で日々の生活日課及び活動のプログラムを立案しています。行事やグループ療育については、全職員で内容等を検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週単位で立案し、季節や子どもさんに合わせたプログラムを作成するようにしています。 ・クラス全体で子どもさんの状況を理解し、立案を行っています。 ・クラスでの打ち合わせを常に心がけています。 						
6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	13	0	0	<p>クラス内での活動、主にあそびについては日々固定化しないように新しいあそびの提供を考えています。クラスの枠を取り払っての設定あそびでは、発達年齢、生活年齢を考慮し、今経験することが望ましい活動を取り入れるよう努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんの興味関心に合わせておもちゃを提供したり、あそびやゲーム、集まりなどの提案をしたりしています。 ・身体を使ったあそびや接触あそびやゲームあそびなど、固定化しないようにしています。 ・子どもさんの状態や発達、季節に合わせて楽しめるあそびを考え取り入れるようにしています。 	32	2	0	1	<p>・ひよこ学級のようにマンツーマンでの療育を取り入れていただけたらありがたい。</p>	<p>ひよこ園事業では集団の中での個別のかかわりを基本としています。本人の困り感が高まる場合は、より個別のかかわります。</p>
7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援				非該当						
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	13	0	0	<p>子どもさんが登園するまでにその日のスケジュールを確認して打ち合わせができるようにしています。新しい活動に取り組む際には特に念入りに打ち合わせを行い、様々な対応策を検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前、療育後には話し合いを行い、支援の内容を考えています。 ・朝のクラス準備をしているときに、活動や子どもさんのグループ分けによる配慮、予想される行動、大人の動きについて確認するようにしています。 ・クラス内での連携がないと子どもさんたちが落ち着けないのでリーダー中心に職員の動きを確認しています。 						

9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	12	1	0	<p>なるべく毎日話し合いの時間を設けていますが、療育時間前後に保護者との個別懇談を行っており、日々の振り返りのための時間を毎日きちんと時間設定をして行うことは難しいため、次の日の受入準備を設定している時に本日の状況等報告し合い、次の環境設定や支援について見直しをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> •必要な情報や支援の振り返りは、意見を出して共有するようにしています。 •次の日の準備の際に話し合いの時間をとるようにしています。 •決められた時間に行うことは難しいこともあるため、翌日の準備をしているときに情報交換をしています。 •メモ等で、クラス全員に回覧をしたり、報告等を行ったりしています。 		
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	10	3	0	<p>日々の記録については、個々に合わせて作成した連絡ノートにて行い、月毎にも記録し振り返りを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> •子どもさんに合わせた連絡ノートに記録することで支援の検証改善につなげています。 •月ごとの記録については年間目標に沿っての支援内容や子どもさんの状況が詳しくされています。日々の記録については午前午後での設定内容や様子を記録しています。 		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	12	1	0	<p>モニタリングについては月ごとに実施し、子どもさんの状況に合わせてその都度見直しを行います。年2回は定期的に年間目標、短期目標の見直しを行い、支援の状況について確認を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> •その都度子どもさんの困り感に沿った支援を行っています。 •月ごとにモニタリングを行っており、子どもさんの状況に合わせて支援方法の見直しを行っています。 		
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	10	2	1	参画していくようにしています。		

関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			非該当			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			非該当			
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	13	0	0	就学児は保護者と協働でサポートブックを作成し、それを基に学校や事業所などと引継ぎを行い、情報共有しています。併行通園児に対しては、施設支援など実施できる態勢を整えています。 ・併行通園している保育所へ施設支援に行ったり来てもらったりし、情報交換するようにしています。 ・就学先とは、職員と親御さんと一緒にサポートブックをもとに引継ぎを行っています。 ・保護者、職員とで一緒にサポートブックを作成し、就学時スムーズに移行支援が行われるよう情報を共有するよう努めています。		
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	13	0	0	幼稚園・保育所や他の事業所へ移行する子どもさんは保護者と協働で、サポートブックを作成し、それを基に引継ぎを行っています。		

6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	13	0	0	自閉症スペクトルの方を主に対象とした医療機関の言語聴覚士にスーパーバイズを受けています。また今治市自立支援協議会に参加しています。							
7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	0	12	幼稚園・保育所等との交流の機会の設定は行っていません。幼児期において児童発達支援センターのインクルージョンの位置づけは本人のセルフエスティームを育むことと、保護者の方が子どもさんの持つ特性に起因する困り感に気づけるようになり、自ら子どもさんへの配慮や支援が考えられる「よき理解者になる」ことだと考えています。ひよこ園事業の療育支援はその点に重点を置いています。	8	4	22	2	<ul style="list-style-type: none"> 交流をしたなどは聞いたことないので、多分ないと思っています。 自分自身は、交流は必要ないと思っている。 「していけないこと」、「して良い事」も本人がわかってきているので助かっています。 コロナ渦の中では現在交流ができない。今後は交流が徐々に出来れば良いと考える。 	ひよこ園事業の障がいのない子どもさんとの交流機会の提供に関する考え方は事業所の現状評価欄に記載しています。	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	6	2	5	新型コロナウイルス感染症対策として、今年度は行事の中止や縮小を行い、地域住民の方やボランティアさんへのお誘い受け入れも控えるようにしました。 <ul style="list-style-type: none"> 運動会、夏祭り等で卒園児、地域の方を招待していましたが、今年はコロナのこともあり、行事を縮小し招待も中止しました。 						今後コロナ感染が収まれば以前と同様ボランティアさんや地域住民の方のご招待を行っていきます。	
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	13	0	0	利用負担等については重要事項説明書に記し、契約の際に説明しています。またそれぞれを園内廊下に掲示しています。 <ul style="list-style-type: none"> 支援の内容は支援計画開示時に説明し、日々連絡ノートで達成状況の確認を行っています。また月1回の個別懇談でさらに情報交換します。 	35	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別で話し合いがあり助かってます。 		

2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	13	0	0	支援計画を開示するときに、長期目標、短期目標、具体的な支援方法について説明し、年間支援計画のコピーを手渡しています。又、支援計画を基に個別に連絡ノートを作成し、保護者と職員間で日々チェックが出来る様にし、月ごとの個別懇談時に支援の進捗状況の報告・説明を実施しています。 ・電話や個別懇談でも説明しています。	35	0	0	0		
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	13	0	0	全体懇談会(勉強会)、療育参加等(実習)、クラス懇談会等により、保護者の方に子どもさんの特性理解のための情報提供や支援の方法、関わり方等の情報提供の機会を多く持っています。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症により回数は少なくなりましたがクラス懇談会、全体懇談会を通じて行っています。 ・個別懇談にて子どもさんの状況を聞き取り情報を共有し、保護者の方のニーズの把握に努めています。	28	5	0	2		
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	13	0	0	年間支援計画を基に子どもさん一人ひとりに合わせた連絡ノートを作成し、毎日やりとりを行っており、目標に対する達成状況や関わりのポイント等、互いに情報共有できるようにしています。 ・日々の様子は連絡ノートに記入し、電話や個別懇談でもお話ししています。	35	0	0	0		
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	13	0	0	月に1回の個別懇談で相談を受けるとともに日々の連絡ノートや個別に電話やお手紙でもやりとりを行っています。また、必要に応じ個別懇談を行い話し合いの機会を設けるようにしています。 ・連絡ノートを通じ、その日のことや、保護者の質問にお答えしています。ノートに書ききれない内容については電話連絡したり、後日手紙で返答したりしています。 ・質問や相談にはすぐお答えをし信頼関係を第一に対応しています。	35	0	0	0		

保護者への説明責任・連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	13	0	0	<p>保護者会の会場を設定したり、保護者会で企画した行事や勉強会のサポートなどを行っています。全体懇談会やクラス懇談会の中で、保護者同士で話し合いが出来るよう座談会を設定したり、家庭での取り組み等を紹介しあえる場の設定を行ったりしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで開催する回数は少ないですが協力しています。 ・クラス懇談会などで保護者が集まる機会をつくっています。 	17	13	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はコロナで活動はありませんでした。 ・コロナ渦なので適切に判断できない。 ・コロナで今年度は活動が少ない。 ・コロナのため、しかたないと思う。 ・コロナの為仕方ないですがことはさみしいですね☹️ ・コロナの関係で交流が少ない。 ・今年はコロナ対応で仕方のない面もありますが、満足な会はできていないです。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	13	0	0	<p>苦情受け付けから、解決までの体制が整っています。第三者委員を設置し今治市の苦情相談窓口、愛媛県福祉サービス運営適正化委員会(苦情解決部会)について重要事項に記しており、契約の際随時説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情の有無を、毎月発行しているひよこだよりも掲載しています。 ・ご意見箱を用意しています。 	30	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情ないのでわかりませんがコロナのことで色々ページに掲載されているので助かっています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	13	0	0	<p>コミュニケーション指導はひよこ園事業の療育のテーマです。子どもさんへの関わりとしては受容性、表現性の視点でコミュニケーション支援を行っており、子どもさんが情報を受け取り整理しやすく環境を整えたり、伝えやすいコミュニケーション方法の獲得を促したり、互いに伝え合うための工夫をしています。保護者の方に関しては連絡ノートや電話連絡で情報伝達をしています。また今年度より情報発信アプリ「コドモン」を導入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんに対してはわかりやすい言葉がけや視覚的に示すなどの工夫をしています。 ・コドモンの導入により、情報発信の処理が早くなり確実になってきました。 	33	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項が丁寧すぎる。連絡ノートに書いてることをわざわざ電話で連絡もらったことが何度もある。先生方もお忙しいのでノートで済むことはノートだけでも大丈夫ですよ。 ・携帯での情報がわかりやすいです。 ・コドモンとてもよいです。紙等は紛失する可能性ありますが、それがなくて助かっています。

9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	13	0	0	週案や月ごとのお便り、年間日程表などをお渡しし情報提供に努めています。また、行事やクラス懇談会、全体懇談会に関する情報を「コドモン」で発信し、確実にお伝えできるような態勢を整えています。子どもさんについてはスケジュール等で一日の日課や行事の内容を伝えています。	33	1	0	0	・仕事をしているのでシフトが作りやすくなっているのが父親も一緒に参加出来たりできるので助かっています。	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	13	0	0	契約の際、個人情報の取り扱いについて保護者の方に説明し、同意書にも署名捺印して頂いています。外部の方を受け入れる際は、個人情報についての取り扱いの説明をしたり、実習受入の際は誓約書を頂いたりしています。管理に関しては個人情報を含む文書に関しては鍵がかかる保管庫で保管し、個人情報を含むデータに関しては一元管理を行っています。またヒヤリハット活動により意識統一をしています。 ・個人情報が含まれる文書やデータの取り扱いについてマニュアルなどで意識統一しています。またヒヤリハット活動で意識統一を行なっています。 ・取り扱いについては十分気をつけています。	34	0	0	0	・されているので大丈夫だと思っています。	
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	13	0	0	それぞれ作成し、不審者対応マニュアル以外は掲示しています。感染症対応マニュアルについては「ひよこ園通園に関して」に記載してあり契約の際説明しお渡ししています。 ・毎年マニュアルを確認し、防犯訓練も実施しています。 ・定期的に訓練し反省を次に活かせるようにしています。	31	1	0	2		来年度からマニュアル等はコドモンの資料室に掲示する予定です。
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	13	0	0	月に1回消防訓練、年に1回震災訓練、その他、強風、津波、不審者訓練を実施しています。 ・訓練後、反省と改善点をクラス職員で話し合い、主任会で話し合っています。その内容をまたクラス職員で共有するようにしています。	34	0	0	0		

非常時の対応	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	13	0	0	<p>職員会や施設内研修で虐待防止研修やエンパワメント研修をしています。また、子どもさんの持つ特性理解を深め子どもさんへの適切な支援や関わりができるよう努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> •職員会で施設虐待の事例などを周知しています。 •着替え場面やトイレ場面において身体に変化がないか確認しています。 		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	13	0	0	<p>保護帽以外の身体拘束は基本的に行いません。このことは職員会でも意識統一しています。保護帽の使用に関しては親御さんの了解も得てたうえで支援計画にも記載し、記録をつけています。</p> <ul style="list-style-type: none"> •保護帽の利用は、歩行バランスの悪い子どもさんや、てんかん発作を起こすおそれのある子どもさんに、安全、安心して活動に参加できるよう用いています。 		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	13	0	0	<p>毎年アレルギーに関するアンケートを配布し、アレルギーの有無の確認を行っています。医療機関を受診していない方に関しては医師の診察をお勧めします。指示書に応じて除去食(代替食)を提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> •食事場面ではアレルギー対応食の札やお盆の色を変えるなどの工夫や、他児と席の間隔をあける又は時間をずらすなどリスクの軽減に努めています。 •指示書を基にクラス全体で意識するようにしています。アレルギー食が出た時には特に気を付けるようにしています。 •医師の指示に基づき対応しています。クラスでは席の位置や食事開始時間なども配慮し、職員同士声をかけ合いながら対応しています。 •クラス担当、看護師、栄養士と情報を共有しています。 		

達成	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	13	0	0	日々のヒヤリハット報告は、終礼時に行っています。月1回、職員全体で事例報告及び対応策の検討を実施しています。 ・月に一度職員会の際に共有するようにしています。						
	1	子どもは通所を楽しみにしているか					33	0	0	1	・バスに乗っていますがそれが楽しかったり園で楽しみがふえている。 ・先生の名前をいいながらこんなことしたよと教えてくれます。	
	2	事業所の支援に満足しているか					34	0	0	0	・カードでの提示で次回を楽しみにしている。 ・ひよこ園にかよってから、おどろくほど成長しました。 ・いつもありがとうございます。 ・内容もくわしくノートに記入してくれてとても助かっています。	